

マンション・アパートの防犯のポイント

マンション・アパートの防犯対策について、さまざまな対策をご紹介してまいりましたが、今回は、人間の心理を上手く使った防犯対策をご紹介させていただきます。ご存じの方もおられると思いますが「割れ窓理論」というものです。

「割れ窓理論」とは、ビルの割れている窓を「誰も気にしないから大丈夫だ。」と放置しておく、それがだんだん2枚、3枚となって、そのうち建物周辺の自動車や自販機にイタズラされたり、やがては放火や凶悪犯罪も起こると言う理論です。

割れ窓があると言う事は、このビルや地域を管理している人がいないと言うしるしです。そのしるしを一掃すれば、そのビルや地域は「安全になる。」と言う考え方です。もともとアメリカのある学者が、80年代の終わりに言い出した理論ですが、実際に実行したのが前ニューヨーク市長のジュリアーノさんで、当時のニューヨーク市警の本部長とで考えて、「割れ窓理論」と同じで、市警本部の周りや、地下鉄中の落書きを全部消してしまえと通達を出しました。お巡りさん達は、最初は随分不平を言ったそうですが、苦勞して落書きを消し、小さな犯罪にもきちんと対処し、警察官の数も相当増やした結果、ニューヨークの犯罪件数は激減しました。

この話をマンション管理に置き換えれば、エントランスというマンションの顔にあたる場所、集合ポスト付近をきちんと整理整頓、清掃する事や、廊下や階段の切れた蛍光灯をこまめに取替えたりする事だと思います。そういう事で「このマンションは、キチンと管理されていて入りにくいな。」と思うであろうという事です。常に高い防犯意識を持つというのは非常に重要です。是非、ご留意下さい。

弊社は皆様の物件を常に満室に保つため、日々営業努力をさせていただくと共に、様々なご提案・ご相談をさせていただいております。今回の紹介につきましても一例になります。それぞれの物件に合った最適なご提案をさせていただきますので、ぜひ各営業店までご相談下さい。